

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成29年度対象)

平成30年9月

東庄町教育委員会

教育委員会

1. 教育委員会の会議

(1) 定例教育委員会 12回開催

各種委員の委嘱・任命、条例・規則・要綱の制定、行事の後援・共催承認、教科書の採択、就学指導候補者の承認、教育費予算の同意、幼稚園長・社会教育指導員・家庭教育指導員・教育支援センター指導員の任命、学校医等の委嘱、要保護及び準要保護児童生徒の認定、社会教育計画（案）並びに生涯学習・公民館・図書館主催教室、講座（案）等について審議した。

(2) 臨時教育委員会 1回開催（3月10日）

県費負担教職員の任免その他進退に関する内申を審議した。

(3) 教育委員協議会 定例教育委員会後8回開催（随時）

放課後児童クラブ、東庄中学校駐輪場整備、廃校となる小学校の跡地利用、学校給食費無償化、東庄町立幼稚園統合等について協議した。

2. 教育委員の学校訪問

教育委員は独自に毎月担当校を訪問し、必要に応じて定例教育委員会で報告、協議を行った。教育委員学校施設訪問を10月12日・13日に実施し、各校施設の改修、修繕の必要な箇所を精査し、次年度の予算要求を審議した。

学校教育

1. 教育施策

- 幼稚園や小中学校での教育を通して学んだことを豊かにしていくことができる「生きる力」の育成及び社会の中で個性が輝く「人間力」の醸成を図る。
- 子どもたちが主体的に学ぶことのできる環境を整備する。
- 小学校統合にあたって「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携し、本町に

根付いた特色ある学校づくりを進める。

(1) 教育内容の充実

情報化やグローバル化など、急激な社会的変化に対応するために必要な知識や力を身に着けることのできる教育を推進する。

総合学習において、地域との連携を強化し、本町の良さを実感できる教育活動を推進する。

子どもたちの「知・徳・体」の向上を図り、個性や能力を引き出していくために、アクティブ・ラーニングなどに取り組み、主体的に学ぶことのできる教育を推進する。

地域の農産物に対する理解と関心を高め、よい食習慣や食生活の知恵を身につけるために、食育の推進に努める。

障害のある児童に対し、一人ひとりに応じた指導や支援（特別支援教育）のために学習支援員を充実するのにくわえ、障害のある児童と障害のない児童が可能な限り共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を検討する。

選挙年齢が満18歳以上に引き下げられたことに伴い、学校教育において、政治的中立を確保しつつ、主権者教育を推進する。

小学校統合に伴い、教育は地域全体で取り組むものという意識のもと、ミニ集会や学校公開を積極的に行うなど「学校・家庭・地域社会」がより緊密に連携しながら地域一体となった教育の実現を図る。

(2) 教育環境の整備

適切な規模での学校教育を維持するため、小学校の統合を進める。

老朽化した学校給食センターの新センター建設を進める。

2. 平成29年度の重点

(1) 千葉県教育振興基本計画をベースに教育振興を図る。

- (2) 指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける。
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学力の向上を図る。
- (4) 早寝、早起き、朝ご飯、外遊びの励行により強靱な健康・体力を培う。
- (5) 幼・小、小・中の連携を強化し、交流活動をより多く取り入れる。
- (6) 地域の教育力を生かす。(地域の歴史、伝統文化、工芸、音楽、スポーツ、栽培、読み聞かせ等)
- (7) 子どもの表現力・コミュニケーション能力の一層の向上を図る。
- (8) 読書を励行し「読書好きな子ども」を育てる。
- (9) 安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成する。

3. 学校教育の振興

(1) 学校・幼稚園規模

平成29年5月1日現在

校(園)名	児童生徒数	住 所	校(園)長名	職員数
笹川幼稚園	17	笹川い4713-29	玉井 富三	2
橘 幼稚園	19	今郡555	玉井 富三	2
神代小学校	70	窪野谷1661	宮崎 豊	15
笹川小学校	269	笹川い4713	根本 正夫	23
橘 小学校	100	今郡558	関口 喜代美	15
石出小学校	94	石出1599	大槻 富保	13
東城小学校	77	小南941	宮内 幸弘	13
東庄中学校	341	青馬1756	須藤 壯輝	27

(2) 教育相談

毎月、第2水曜日の13:30～16:00に実施したが、相談はなかった。

ほかに、電話等での相談は、随時受付けている。

(3) 東庄町長期欠席児童生徒対策委員会

東庄町長期欠席児童生徒対策委員会委員の異動があったため、4月25日に1人の委嘱を行った。東庄町長期欠席児童生徒対策委員会を7月25日に開催し、長期欠席児童生徒の指導、防止対策等について審議した。

(4) 東庄町教育支援委員会

4月30日をもって東庄町教育支援委員の任期が満了となるため、4月25日に新たに委員の委嘱を行った。委員会を11月29日に開催し、障害を持つ児童生徒の継続的な教育支援等について審議した。

(5) 教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議

教育委員・民生委員児童委員・学校長合同会議を2月26日に開催し、要保護及び準要保護児童生徒の認定等について協議した。

(6) 就学援助及び奨励事業

要保護及び準要保護児童生徒就学援助費

小学校	要保護児童	0人	
	準要保護児童	8人	553,812円
中学校	要保護生徒	0人	
	準要保護生徒	8人	879,290円

特別支援教育就学奨励費

小学校	5人	132,237円
中学校	2人	81,542円

(7) 奨学資金利子補給事業

41件 対象額 40,418,736円 利子補給額 578,138円

(8) 奨学基金事業

奨学生 2人 奨学金 1,500,000円

(9) 補助金の交付

東庄町教育研究協議会事業	400,000円
東庄中学校生徒通学用ヘルメット購入事業	117,788円
東庄中学校社会体験学習事業	135,000円
地域学校安全推進事業	100,000円

(10) 主な工事関係契約・備品購入契約

笹川小	体育館暗幕取付工事	契約金額	3,760,430円
笹川小	体育館2階ギャラリー手摺取付工事	契約金額	1,002,672円
笹川小	立木伐採工事	契約金額	2,041,200円
笹川小	倉庫棟新築工事	契約金額	15,292,800円
笹川小	体育館バトン取付工事	契約金額	704,160円
笹川小	鉄骨倉庫解体工事	契約金額	1,134,000円
笹川小	体育倉庫棚制作工事	契約金額	803,520円
笹川小	物置設置工事	契約金額	518,400円
笹川小	立木伐採及び舗装工事	契約金額	3,283,200円
笹川小	体育館バトン取替工事	契約金額	734,400円
石出、東城小	プール設備補修工事	契約金額	772,200円
東庄中	笠木補修工事(職員室等)	契約金額	540,000円
東庄中	笠木補修工事(教室等)	契約金額	705,000円
東庄中	3階職員室エアコン交換工事	契約金額	755,827円
東庄中	技術室改修工事	契約金額	23,187,600円
東庄中	特別教室連絡通路屋根工事	契約金額	1,804,183円
東庄中	校用車両(トヨタハイエース)購入契約	契約金額	1,882,470円

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>教育施策については、千葉県教育委員会が提示した「平成29年度学校教育指導の指針」に基づいて実施した。</p> <p>小学校外国語活動では、実施する時間全てに日本人英語講師を配置し、学級担任を主としながら、児童が外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養えるようにした。また、1～4年生についても各学級24時間ずつ外国人講師を配置し発達段階に応じて外国語や外国の文化に親しめるようにした。</p> <p>指導主事制度を生かし、教師の指導技術の向上を図り、児童生徒に確かな学力をつける取組を行なった。教育事務所の指導室訪問、管理課訪問、各校からの要請等に応じて学校訪問を実施し、教育課程の実施状況を確認し、協議・指導を通して学習指導要領の趣旨を生かした授業づくり、学校づくりを図った。また、教職員の勤務の状況についても確認し、不祥事根絶への取組を含め、適切なサービスが行われるように指導を行った。</p> <p>全教職員を対象とした夏季研修会（外国語教育・Q-U診断資料の見方、活かし方）を実施し、授業力・指導力の向上を図った。今後とも、年齢層や研修回数等を考慮し、より充実した研修の実施へ向けて、改善を図る必要がある。</p> <p>幼・小、小・中の連携を強化し、スムーズな進学ができるように交流活動をより多く取り入れた。幼稚園児の小学校訪問や運動会での交流、教員がお互いの授業、活動参観を行い意見や情報交換をすることにより園児が小学校について知り、園児と児童が互いに知り合えるようにすることができた。</p> <p>中学校教員による小学校6年生への訪問説明会を実施することにより、中学校での生活の仕方や学習活動について知ることができるようにし、疑問や不安の解消を図るとともに、中学校入学への心構えを作れるようにした。</p> <p>不登校児童生徒に対し、集団生活への適応力の向上を図り、在籍する学校へ自信を持って復帰できるよう東庄町教育支援センターを開設、相談及び指導を行い保護者、指導員、在籍校教</p>

	<p>頭と定期的に話し合いを持ち、支援の方向性について共通理解を図っている。</p> <p>安全・安心な環境づくりと、子どもの危険予測能力・回避能力を育成するため、各校において、避難経路・避難場所・緊急時の連絡方法（メールによる緊急連絡体制の構築）等、避難の方法（危機管理マニュアル）について検討を行い、地震等の緊急時に安全な対応ができるようにするとともに、児童生徒の危険予測能力・回避能力を育成するための避難訓練を定期的実施した。</p> <p>児童生徒が生命について理解し、健全で自律した行動がとれるように、保護者を含めた関係者が連携し、児童・生徒・保護者・関係者の意識を高め、思春期講演会を行う等、思春期保健体制づくりを目指した。</p> <p>計画的な就学指導の実施については、幼保・学校・健康福祉課との連携による、早期からの計画的な就学指導を実施し、一人一人のニーズに応じた適切な就学指導の実現に努めた。また、特別に支援を要する児童に介助員や学習支援員、言語指導員を配置し、個のニーズに応じた支援を行うことにより、一人一人の個性・能力が適切に伸びていけるように配慮した。</p> <p>「東庄町立小学校統合計画」に基づき、東庄町立小学校統合全体会議、及び作業部会を開催した。HPやチラシで進捗状況を周知し統合に向けスムーズな移行を目指した。また幼稚園は31年度からの認定こども園開設に向け準備を開始した。</p>
--	---

- 評価指標： A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

生涯学習

1 教育施策

- * 誰でも生涯学習に参加し、いつでも学ぶことのできる環境づくり
- * 多様な価値観にあわせた生涯学習の機会の提供

(1) 生涯学習推進体制の確立

住民のさまざまな学習意欲を満たす各種講座を積極的に開催するとともに、小・中学生の保護者を対象とした子育ての場として、家庭教育学級の充実を図る。また、公民館や図書館の利用促進により、生涯学習を推進する体制を構築する。

(2) 芸術・文化活動の展開

文化協会や自主活動団体による芸術・文化活動を支援するとともに、成果を発表する場を設けることにより、活動の活発化を図る。そして、芸術・文化に関する意識を高揚し、地域文化の育成を進める。

(3) 文化財の保護と活用

文化財の調査・研究を推進し、郷土芸能などの無形民族文化財を維持していくため、後継者育成などの取り組みを進めていく。

文化財の保護と活用を図り、案内板の設置等によりPRを行うとともに、本町の歴史や文化財を次世代に伝承する手段として、観光ボランティアとの協働で史跡等を巡る活動などの取り組みを実施する。

(4) 青少年の健全育成

子どもたちの地域への愛着と誇りを育み、地域社会の一員としての自覚を高めるため、地域学習を推進する。

多くの子どもたちが興味を持って参加できる事業の開催や、スポーツ少年団などで青少年の健全育成を推進する。

(5) スポーツ・レクリエーションの推進

競技としてのスポーツに取り組む子どもたちのために、スポーツ少年団などへの支援を行うとともに、町内のスポーツ施設や学校体育館などを活動の場として活用できるよう支援する。また、町外からのスポーツ合宿により、スポーツによる都市交流を推進する。

レクリエーションとしてのスポーツについては、住民の健康づくりやコミュニティ醸成など、多様な効果が期待できる意義深いものであることから、関係団体などと連携しながら、誰でも気軽にできる軽スポーツの活動支援やイベント開催などを推進する。

2 本年度の重点

(1) 生涯学習の推進

子ども名作劇場の開催

青年サークルの立ち上げ

障害者の青年講座

スポーツ団体の強化

(2) 公民館活動の活性化を図る。

文化事業内容の検討

新しい講座の開設と自主団体の育成

(3) 社会教育施設の活用を図る。

公民館、公民館分館、図書館、宮野台運動公園，東城グラウンド，町民体育館、スポーツ広場、弓道場

(4) 図書館の利用促進

行政ポイントの付与

図書館だよりの発行

3 今日的課題（具体的な実践と協議内容）

- (1) 子どもまつり、各種スポーツ大会、町民運動会、文化祭、コジュリンマラソン等への参加促進
- (2) 各講座における新規利用者の開拓
- (3) 外部団体の自主運営の促進
- (4) 中高生が参加できるイベントや講座等の開催
- (5) 社会教育施設の老朽化に伴う整備

4 .生涯学習の推進

(1) 実施事業

生涯学習講演会「毒蝮三太夫 まむし流こころとからだの健康法」

8月27日 町公民館 291人

第43回東庄町文化祭 11月3日 公民館 入場者5,000人

コジュリン通学合宿 11月19日～21日 公民館 19人参加

東庄町成人式 1月7日 公民館 該当者158人うち出席者133人

(2) 東庄町文化協会

定期総会 4月20日 公民館

会報「東庄文化」第33号発行(4,700部) 5月

文化のつどい 6月25日 公民館 600人参加

研修旅行 3月4日～5日 長野県諏訪市方面

(3) 東庄町子ども会育成連合会

定期総会 4月8日 公民館

第19回 子どもまつり 5月7日 公民館 600人参加

子ども会キャンプ 6月3～4日 茨城県立白浜少年自然の家 49人参加

子どもスポーツ大会 10月22日 笹川小体育館 200人参加

(4) 東庄町杉の子サークル

総会 4月23日 公民館

クリスマス会 12月9日 公民館 25人参加

(5) 東庄町青少年相談員連絡協議会

総会 4月15日 いなよし

環境美化活動 6月24日 町児童館

青少年のつどい綱引き&ドッジボール大会 9月3日 笹川小体育館

選手7チーム100人参加

子ども名作劇場「シンドバットの冒険」 10月29日 公民館 180人

青少年のつどい香取地区大会 2月18日 香取市民体育館 5チーム

52人参加

(6) 東庄町社会教育委員会議

東庄町社会教育委員会議委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、平成29年9月15日より平成31年9月14日までの任期で15人を委嘱し、9月20日に新議長選出。その後12月に1人の委嘱替え。2月20日第2回社会教育委員会議では、社会教育全般の計画等について審議した。

(7) 補助金の交付

東庄町文化協会事業 250,000円

東庄町PTA連絡協議会事業 160,000円

東庄町子ども会育成連合会事業 70,000円

単位子ども会育成費(12団体) 156,000円

東庄町青少年相談員連絡協議会 350,000円

東庄町杉の子サークル育成会事業 40,000円

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>子どもたちと青少年の健全育成を図るため、子どもまつり、青少年のつどい、子どもスポーツ大会、杉の子サークルクリスマス会、コジュリン通学合宿等の事業を開催し、多くの参加者があった。また、今年は劇団による子ども名作劇場を開催することで、子ども達への新たな演劇鑑賞の機会と道徳教育の場を提供できた。</p> <p>今後も、東庄町子ども会育成連合会、東庄町杉の子サークル・杉の子サークル育成会、東庄町青少年相談員連絡協議会等の団体との連携を図るとともに、その活動を支援する必要がある。</p> <p>第43回東庄町文化祭が11月3日に公民館で開催され、入場者は5,000人を数えた。東庄町文化協会加盟団体が参加し、芸術・文化活動の推進が図られた。今後も、文化協会等の団体育成を図る必要がある。</p> <p>東庄町成人式が1月7日に公民館で開催され、該当者158人のうち133人が出席し、新成人の門出を祝した。(出席率84.2%昨年より0.9%増)</p>

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

5. 東庄町公民館の運営

(1) 主催事業

少年講座

子ども書道教室 36回(第2・3・4土曜日) 憩いの里・公民館

受講者78人

子ども工作教室 1回 公民館 受講者20人

子ども絵画教室 4回 公民館 受講者12人

親子講座

親子パン作り教室 1回 公民館 受講者31人

成人学級

初めてのらくらく手編み教室 15回 公民館 受講者18人

ペン字教室 7回 公民館 受講者23人

生け花教室 14回 公民館 受講者9人

Café de 公民館 5回 公民館 受講者17人

初めての韓国語講座 16回 公民館 受講者17人

折り紙講座 1回 公民館 受講者8人

布ぞうりづくり講座 1回 公民館 受講者18人

男のそば打ち教室 3回 公民館 受講者9人

若者のそば打ち教室 1回 公民館 受講者20人

陶芸教室 12回 公民館 受講者3人

高齢者教室

ことぶき大学 11回 受講者146人

家庭教育学級

各小・中学校6学級 全40回 受講者349人

公民館まつり

2月25日 公民館 700人参加

同時開催 千葉交響楽団の弦楽四重奏とソプラノ歌手による「親子で楽しむわくわくコンサート」

(2) 公民館利用状況

東庄町公民館の利用人数は、1,445団体 27,783人(3館合計)

(3) 東庄町公民館運営審議会

東庄町公民館運営審議会委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、

平成29年9月15日より平成31年9月14日までの任期で15人を委
嘱し、9月20日に新委員長選出。その後12月に1名の委嘱替え。2月2
0日第2回公民館運営審議会会議では、公民館事業等について審議した。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>公民館主催講座については、子どもから高齢者まで幅広く実施している中で、男性の参加が少ないことから「男のそば打ち教室」や障害者の生きがいづくりをサポートした講座「若者のそば打ち教室」を開催し、新たな層の意欲的な参加があった。</p> <p>神代分館は陶芸施設として、また石出分館は図書室として、図書の貸出しを行っている。東城分館は放課後児童クラブ、子育て支援センターとして活用を図った。</p> <p>公民館定期利用団体も公民館で活発に活動し、公民館まつりで日頃の学習成果を発表しているが、今年度は新たな試みとして県民芸術劇場を利用し、千葉交響楽団の弦楽四重奏とソプラノ歌手による「親子で楽しむわくわくコンサート」を同日に開催した。今後も団体等の育成に努める。</p> <p>また、分館を含めそれぞれの公民館の特性を生かした、新しい主催講座等を開設するなど、新規利用者や男性の利用促進等多様なニーズに対応した取り組みが必要である。</p>

評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる

B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる

C 課題が生じ目標達成は困難である

6. 東庄町図書館の運営

(1) 実施事業

県立図書館巡回企画展「手にとってみよう」 4月14日～5月10日

子ども読書の日スタンプラリー 4月14日～5月14日 30人参加

子ども読書の日イベント「おはなし会」 5月7日 公民館 57人参加

県立図書館巡回企画展「大人だって本の世界を広げよう」7月21日～8月30日

県立図書館巡回企画展「読書のすすめ」10月20日～11月15日

秋の読書スタンプラリー 10月20日～11月18日 86人参加

トリックアート工作会 2月25日 33人参加

(2) 図書館利用状況

図書貸出し状況 児童貸出 5,744冊、一般貸出 9,164冊、相互協力冊数 507冊、(合計 15,415冊)利用者は、6,860人

(3) 東庄町図書館協議会

東庄町図書館協議会委員の異動があったため、4月に3人の委嘱を行い、平成29年9月15日より平成31年9月14日までの任期で15人を委嘱し、9月20日に新委員長選出。その後12月に1名の委嘱替え。2月20日第2回図書館協議会会議では、図書館事業等について審議した。

(4) 図書購入費

図書館図書購入費は1,197,732円で、814冊の図書を購入。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>東庄町図書館と石出分館の2館で図書の貸出しを行っており、利用者の利便が図られている。書籍の充実を図るため、814冊の図書を購入した。子どもの読書週間と、秋の読書週間にあわせて「読書スタンプラリー」を導入し、利用者がより読書に楽しめる機会を設けた。県内の図書館との貸出、借用を行う相互協力も充実してきている。</p> <p>また、あかね書房の「トリックアート」の誘致や、継続事業としての「折り紙講座」や、子どもを対象とした「おはなし会」を開催した。今後も子どもの読書活動推進のための取り組みを、</p>

	継続していく必要がある。
--	--------------

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

7. 文化財の保護

(1) 実施事業

歴史教室 6回 公民館 受講者延206人

歴史移動教室 6月10日 千葉県立房総のむら 42人参加

歴史移動教室 9月2日 予科練平和記念館 45人参加

東庄町公民館郷土資料展示室の特別展

「東庄町古今の祭り」 4月1日～11月2日

「昭和の小学校・中学校」 11月3日～

(2) 東庄町文化財審議会

東庄町文化財審議会を11月13日に開催し、文化財案内看板等について審議した。

(3) 補助金の交付

東庄郷土史研究会事業 100,000円

笹川の神楽 100,000円

左右大神神楽 50,000円

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	郷土の歴史・文化財等を学ぶ歴史教室を開催し、文化遺産への関心と理解を深め、伝統に対する誇りと郷土愛の精神を養うことができた。 公民館郷土資料展示室で、「東庄町古今の祭り」「昭和の小学校・中学校」の特別展を開催し、資料が広く一般に公開され、それぞれの様子について周知することができた。

	<p>「笹川の神楽」、「左右大神の神楽」の指定無形民俗文化財継承事業補助金を交付し、無形民俗文化財の保存、継承を図った。</p> <p>今後も、引き続き文化財の調査と保護体制の充実を図る必要がある。</p>
--	---

- 評価指標：A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

8. スポーツ・レクリエーションの推進

(1) 大会や行事、主催教室の実施

第35回東庄町民ゴルフ大会 5月25日 東庄ゴルフ倶楽部 75人参加

第18回東庄町民ヘルスバレーボール大会 6月18日 笹川小体育館
 16チーム130人参加

第36回東庄町民体育大会 7月2日 町民体育館ほか 400人参加

第56回東庄町町民運動会 10月8日 東庄中学校 900人参加

第27回香取地区スポレク中央祭 11月12日 香取市山田中体育館
 町代表選手33人参加

2017コジュリンマラソン大会 12月10日 352人参加

リフレッシュ体操教室 14回 公民館 25人

ピラティス教室 12回 公民館 28人

ヨガ教室 14回 公民館 26人

弓道教室 40回 弓道場 7人

(2) 社会体育施設利用状況

宮野台運動公園野球場 利用人数 4,789人(198回数)

宮野台運動公園テニスコート 利用人数 2,855人(367回数)

東城グラウンド 利用人数 883人(54回数)

町民体育館 利用人数 12,429人(1,378回数)

スポーツ広場グラウンドゴルフ 利用人数 2,273人

スポーツ広場弓道場 利用人数 2,791人

(3) 東庄町体育協会

総会 4月21日 公民館

郡民体育大会6競技実施及び出場、県民体育大会4競技出場

(4) 東庄町スポーツ推進委員会

東庄町スポーツ推進委員会を5月10日、8月18日、9月27日、11月21日、1月30日の5回開催し、社会体育の指導・計画等について審議した。

(5) 東庄町スポーツ推進審議会

第1回東庄町スポーツ推進審議会を7月12日に開催し、第56回東庄町町民運動会実施計画及び社会体育事業等について審議した。

また、平成29年9月15日より平成31年9月14日までの任期で15人を委嘱し、11月17日に社会体育事業コジュリンマラソン大会の運営について、2月20日に東庄町スポーツ施設休場(休館)日の見直し等についてそれぞれ審議した。

(6) 東庄町立小学校及び中学校の施設開放運営協議会

学校施設開放運営協議会委員の異動があったため、4月に4人の委嘱を行った。学校施設開放運営協議会を2月26日に開催し、小学校及び中学校の施設開放について審議した。

(7) 東庄町スポーツ少年団

代表者会議 1月30日 公民館 6団体

(8) 町補助金の交付

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>各種大会・行事等を開催し、スポーツ活動の推進、普及に取り組んでいる。また、健康づくりの4教室はどれも中高年の女性を中心に意欲的な参加があった。</p> <p>スポーツ施設休場（休館）日の見直しを行い、町民体育館、宮野台運動公園、弓道場について、施設利用者の利便を図った。</p> <p>今年度より、コジュリンマラソン大会実行委員会を組織し、より一層のスポーツ活動の推進、普及に向けて関係団体の支援や協力により大会を運営することとした。今後その他各種大会・行事等についても充実を図ると共に、スポーツ少年団などによる青少年の健全育成を支援していく。</p>

- 評価指標： A 目標達成に向けて順調に進んでいる
 B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
 C 課題が生じ目標達成は困難である

学校給食センター

学校給食センターは、東庄町立小学校、中学校及び幼稚園の学校給食用物資の調達、調理、配送並びに学校給食費徴収その他必要な事務及び事業を行なった。

新東庄町学校給食センター整備に向けて計画検討を行ない、基本設計の決定を行なった。

1. 学校給食センターの運営

(1) 主な取組み

日本人の食文化の中心となってきた米を中心とした食生活を再認識するために、正しい豊かな米飯のとり方を身につけさせることを目的として実施した。

学校給食は学校教育の一環であり、食に関する指導の充実を図る。栄養士による定期的な学校訪問等を実施した。

献立内容は、それぞれの栄養所要量に基づき四段階とし、栄養の確保に重点をおいて実施した。

食事内容は、必要とされる栄養量が満たされ、きめられた食材費の範囲の中で衛生的に安全で量的にも満足されるものとした。

地産地消(千産千消)による献立づくりを行った。

異物混入対策とし、調理場の照明をLEDに交換し照度を向上させ発見に努めた。また、調理時の帽子を変更し調理時の混入防止に努めた。

(2) 学校給食期間

1学期 4月7日から7月19日

2学期 9月4日から12月21日

3学期 1月10日から3月22日

(3) 幼・小・中学校の学校給食数・日数

月	給食数(食)	給食日数	一日平均食数
4月	16,581	16	1,036
5月	21,899	20	1,095
6月	23,808	21	1,134
7月	13,774	12	1,148
9月	20,488	19	1,078
10月	23,145	21	1,102
11月	21,834	20	1,092
12月	16,945	15	1,130
1月	17,342	16	1,084
2月	20,856	19	1,098
3月	14,484	15	966
合計	211,156	194	1,088

(4) 学校給食費

幼稚園 日額191円 月額3,300円 年額36,300円

小学校 日額191円 月額3,300円 年額36,300円

中学校 日額 220円 月額 3,800円 年額 41,800円

(5) 東庄町学校給食センター運営委員会

東庄町学校給食センター運営委員会を7月19日、2月26日の2回開催し、学校給食センターの運営状況・計画等について説明を行なった。また、新東庄町学校給食センター整備計画について説明を行なった。

(6) 東庄町学校給食センター建設検討委員会

新東庄町学校給食センター建設に向けて、6月1日に建設検討委員会を設置し、3回開催し検討を行なった。基本設計の決定を行なった。

総合評価	A 目標達成に向けて順調に進んでいる
評価所見	<p>学校給食は、米飯給食を基本とし、地産地消(千産千消)による献立づくりの推進を図っている。</p> <p>食事内容は、必要とされる栄養量が満たされており、衛生的に安全で量的にも満足されるものが提供されている。</p> <p>今後も安全な学校給食実施のため、夏休み等を中心として職員の研修等への積極的な参加が望まれる。</p> <p>平成29年度第2回東庄町学校給食センター運営委員会において、新給食センターの整備計画について説明があった。</p> <p>建設検討委員会が設置され3回開催された。平成30年度以降、平成32年4月稼働に向けての準備の必要がある。</p>

- 評価指標： A 目標達成に向けて順調に進んでいる
B 一部に課題が認められるが概ね目標に進んでいる
C 課題が生じ目標達成は困難である